深谷小学校だより　　2026年4月10日　No.2

キラッと深谷

学校教育目標：　「自分大好き　友だち大好き　学校大好き」と思える子どもの育成

入学式を行いました。ご入学おめでとうございます！

９日（木）の入学式において21名の１年生を迎えました。在校生は１年生が入学してくるのを楽しみにしていました。お姉さんお兄さんとしてしっかりお世話をしようとする姿がとても頼もしいです。１年生の子どもたちが早く学校に慣れるように、学年を越えての交流にも力を入れていきたいと思います。

学校から帰ったときに「ただいま！今日も学校楽しかったよ！」という嬉しい報告が聞けるように、全教職員でしっかりとお子様を見守り、豊かな教育活動を進めてまいります。

どうぞご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



2026年度の職員紹介

校　長	矢野　道代	児童支援・人権同和教育推進	木村　侑加	初任者指導	濵田　恭光
教　頭	門田　美香	児童支援・人権同和教育推進	酒井　健太	JTE	伊藤　由紀子
１　年	出口　桃子	児童支援・人権同和教育推進	佐久間　友成	外国人児童支援員	池田　スサナ
２　年	平川　健太郎	専　科	坂井　佑季子	外国人児童支援員	中山　和子
３　年	佐藤　優	専　科	伊藤　薫	外国人児童巡回相談員	植田　カリーナ
４　年	鈴木　萌々花	専　科	安立　奈摘	外国人児童巡回相談員	波田野　マガリ
５　年	水谷　光喜	英語専科	伊藤　愛那	外国人児童巡回相談員	久田　まいら
６　年	亀田　佳幹	養　護	伊藤　麻千子	外国人児童巡回相談員	後藤　蘭
あけぼのA	伊藤　敏之	養　護	水野　愛華	SHP	金丸　真理
あけぼのB	近藤　涼子	栄養補助員	齊藤　由美子	SC	河野　貴和子
あけぼのC	夘尾﨑　惇	学習支援員	舟井　菜穂	SSS	荒田　綾奈
事務	時本　直子	学習支援員	長瀬　直子	用務員	中島　ゆかり

※JTE（英語活動支援員）・SHP（スクールハートパートナー）・SC（スクールカウンセラー）・SSS（スクールサポートスタッフ）

※育休：塚本彩奈教諭　　産休：林茉奈美教諭

2026年度「深谷小学校　学校経営方針」

2026年も学校だよりの名前に「キラッと深谷」を受け継ぎました。

学校教育目標である【「自分大好き　友だち大好き　学校大好き」と思える子どもの育成】に向けて、この「キラッと深谷」というキャッチフレーズを大切に取り組んでいきます。学校教育目標を達成していくためには、さまざまな観点から豊かな教育活動をおこなっていくことが大切です。特に、4つの柱「学力向上」「なかまづくり」「心身の育成」「地域学習」を重点として取り組んでまいります。

子どもたちの強みや可能性を引き出すために、根底となる基礎学力の定着をめざし、さらにたくさんの経験や挑戦をさせたいと考えています。学級活動を充実させながら縦割り班での活動も取り入れ、子どもたちどうしをつないでいきます。また、保護者・地域の皆様のお力をお借りしながら、自分の住むふるさとの良さを知り、誇りをもつ子どもたちを育んでいきたいです。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

2026年度　深谷小学校「このような学校をめざします」

桑名市教育大綱の基本理念
「夢を持ち、その夢に向かって
努力する子を育てます」

成徳中学校ブロック教育目標
「自他を見つめ直し、
支え合いつながり合える児童・生徒を育てる」

学校教育目標

「自分大好き　友だち大好き　学校大好き」と思える子どもの育成

★めざす子どもの姿★

【知】自分の考えを持ち、進んで学ぶ子(**学力向上**)
【徳】互いに認め合い、つながり合える子(**関わり合い高まり合うなかまづくり**)
【体】心身を鍛え、自他の命や体を大切にする子(**社会で生きぬく心身の育成**)
【公】自分の住む深谷が大好きと思える子(**地域学習**)

キラッと深谷

自分の良さ・友だちの良さ・学校(地域)の良さを見つけていこう！

【学力向上】

1. 基本的な学習習慣の定着
2. 主体的に学ぶ授業づくり(授業改善)
3. 宿題、自主学習の定着
4. 読書習慣の定着

【関わり合い高まり合うなかまづくり】

1. 部落問題学習(重点単元)の推進
2. 子どもの思いや願いを大切にした教育活動
3. 子どもどうしをつなげていく生活指導
4. 特別支援教育の推進
5. 異年齢交流

【社会で生きぬく心身の育成】

1. 基本的な生活習慣の定着
2. 未来や夢につながる出前授業の実施
3. 子どもの可能性を引き出す機会づくり
4. 体力向上の取組
5. 健康な生活につながる取組の推進

【地域学習】

1. 系統的な地域学習
2. 地域の人々の生き方に学ぶ出会い
3. 地域との繋がりを大切にした取組

【このような学校をめざしていくために】

教育活動について

① 子どもたちをとりまく実態や課題を捉え、「差別を許さず、なくすことに向けて行動できる」教育活動を進めます。
② 子ども達の思考を揺さぶる授業実践により、想いや考えを整理し、主体的に言葉であらわす子どもの育成をめざします。

学校運営について

① 子ども、地域の実態・差別の現実に学び、部落問題をはじめとするあらゆる人権問題と自らの関わりを見つめ直します。
② 職員間の共通理解を大切にし、「チーム深谷」として課題に対し、協働・協力します。
③ 見通しと計画性をもち、子どもとかかわる時間を大事にした働き方改革を行います。

子どもたちが学校から帰って「今日も楽しかったよ！頑張ったよ！」と、おうちの人にたくさんお話できるような教育活動をめざします！

